



# 思川だより



令和4年5月23日 第80号

工事の状況は当建設所HPからも  
ご覧いただけます。



## 新任ご挨拶

思川開発建設所長 **ふくだ 福田 たつろう 達郎**

この度、4月1日付けで、思川開発建設所長として着任いたしました福田でございます。着任にあたりまして、謹んでごあいさつ申し上げます。

皆様方には、日頃より思川開発事業へのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

当事業は、思川支川の南摩川に南摩ダムを建設して南摩川、思川、利根川の洪水被害を軽減するものです。また、南摩ダムと黒川、大芦川を導水路で連絡して河川間での水融通を行い、南摩川、黒川、大芦川等の既得取水の安定化と河川環境の保全を行うとともに、新たな水道用水を確保するものです。

事業の実施にあたりましては、永年にわたり住み慣れた故郷からのご移転、また大切な土地をお譲りいただいた皆様、ならびに地域の皆様には格別のご理解・ご協力を賜りましたことに深く感謝申し上げます。

現在、当事業におきましては、令和6年度末の事業完成に向けて、南摩ダム堤体、導水路、送水路、および付替林道等の工事を着実に進めているところです。南摩ダム堤体の工事につきましては、昨年、基礎掘削を完了させ盛立を開始し、5月中旬までに約20万 $m^3$ を盛立てたところです。また、洪水吐き等構造物のコンクリート施工を進めております。

大芦川および黒川の導水路工事につきましては、取水放流工の河川内工事を概ね完了するとともに、シールド工法によりトンネル掘進を進めているところです。

これらの工事は、地元関係者の皆様、及び栃木県、鹿沼市などの関係機関の皆様の多大なご協力を得て進めさせて頂いております。また、周辺地域にお住まいの皆様には、工事の施工に伴い、ご不便、ご迷惑をおかけしております。

今後とも周辺環境、特に地元の皆様に配慮しつつ、自然にやさしく地域に根ざすダムを整備してまいります。職員一同、一丸となって、皆様のご期待にお応えできるよう専心努力して参りますので、引き続き、当事業へのご理解とご協力、またご指導を賜りますよう宜しくお願いいたします。



## 南摩ダム定礎式を開催しました

令和4年3月12日（土）、南摩ダム本体の本格的な盛立を迎えるにあたり、移転者や地元住民の代表の皆様、関係者の皆様にお集まりいただき、礎石を据えて工事の安全と早期の完成を祈念して、定礎式を開催しました。

式典では、水資源機構理事長による主催者挨拶、思川開発建設所長による事業経過報告の後、ご臨席の県内選出の国会議員、栃木県知事、栃木県会議長、鹿沼市長の皆様からご挨拶を頂きました。

その後の定礎の儀では、まず、思川開発建設所の職員とダム本体工事を施工する大成建設（株）の職員とが力を合わせ、重さ220kgの礎石を搬入・設置しました。関係者の皆様による「鎮定（ちんてい）の儀」、「齋饗（いみごて）の儀」、「齋槌（いみつち）の儀」と続き、「埋納（まいのう）の儀」では、無人のダンプトラック、ブルドーザーによる自動運転により、礎石をダム堤体内に埋納しました。

式典の最後には、移転者、地元住民の代表の方にもご協力いただき、「万歳三唱」、「くす玉開披」を行うとともに、ダンプトラックのダンプアップにより「祝定礎」の文字が披露され、式典を締めくくりました。

思川開発建設所では、これを機に、本格的なダム本体の盛立工事を進めてまいります。

引き続き、環境対策や工事車両の通行などの安全対策に万全を期して事業を進めて参りますので、今後ともご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



礎石搬入・設置



鎮定の儀

（右から佐藤鹿沼市長、福田栃木県知事、五十嵐衆議院議員、金尾水資源機構理事長）



自動運転による埋納の儀



ダンプアップ「祝定礎」



「万歳三唱」、「くす玉開披」

## 主要工事の状況

今回は、現在進めている各工事の施工状況をご紹介します！

### ○ダム本体建設工事

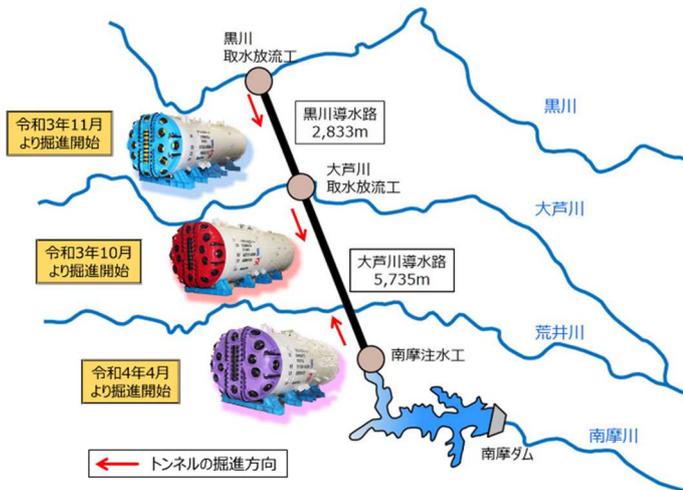
南摩ダムの建設現場では、堤体の盛立や洪水吐き・プリンス（監査廊）・取水塔といったコンクリート構造物の構築など、様々な工事が各所で行われています。中でも堤体の盛立は最盛期を迎えている工種の一つです。展望広場から、運搬・撒きだし・転圧の様子を見ることができます。盛立は年内完了を目指して鋭意施工中です。



ダム本体工事の様子

### ○導水施設工事

南摩ダムと思川支川の黒川・大芦川を結ぶ施設をつくる導水路工事では、令和2年度から引き続き取水導水のための地上設備（取水堰・取水路・魚道など）の施工を進めています。また、昨年度からは導水路トンネルの施工に着手し、左図の写真に示す通り3台のシールドマシンを用いて約9kmのトンネルを掘り進めています。



導水施設工事の概要

### ○取水放流設備工事

取水放流設備工事は、南摩ダムに貯めた水を取水し、下流へ放流するためのゲート設備や利水放流管等を製作・据付する工事です。現在は、南摩ダム下流へ水を送る「利水放流管」と呼ばれる配管の製作を進めております。写真は製作された利水放流管で、据付が完了すると、直径3.8m、全長約660mと非常に大きな放流管となります。



製作した利水放流管



付替林道工事の様子

### ○付替道路工事

付替県道工事は、昨年度に全区間で工事が完了し、令和3年9月5日より供用が開始されました。現在は9件の付替林道工事を進めており順調に整備が進んでいます。写真は付替林道左岸下流Ⅰ工区工事です。現在、左岸下流Ⅰ工区では工事用道路を敷き、法面にコンクリートを吹き付けるためラス網を張っています。

## 水資源機構は設立 60 周年を迎えました

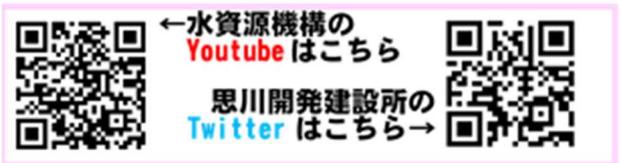
水資源機構の前身である水資源開発公団が昭和 37 年（1962 年）5 月に設立されてから 60 年を迎えました。この間、機構は我が国の全人口の半分以上の人々の生活に関わる 7 つの水系で水資源の開発・管理を行い、首都圏、中部圏、近畿圏などの大都市圏を中心とした地域に水を安定的に供給することを通じ、我が国の国民生活の向上と産業経済の発展に寄与してきました。

これからも「水のプロ集団」としての機構の存在価値をすべての役職員が再認識し、機構の使命を達成すべく、一層努力してまいります。



### 【人事異動（管理職）】

	転入	転出
所長	福田 達郎（総合技術センターより）	竜澤 宏昌（本社へ）
副所長	市川 滋己（道路工事課長より）	阪元 恵一郎（一庫ダム管理所へ）
所付	小田 泰資（筑後川下流総合管理所より）	（新規）
所付	小宮 礼行（総務課長より）	（新規）
総務課長	井上 仁（筑後川下流総合管理所より）	小宮 礼行（所付へ）
経理課長	石山 功太郎（千葉用水総合管理所より）	滝澤 啓明（本社へ）
第二用地課長	（廃止）	持田 佳男（筑後川下流総合管理所へ）
工務課長	後藤 淳（池田総合管理所より）	武田 保郎（中部支社へ）
導水工事課長	森長 夏樹（木曾川水系連絡導水路建設所より）	梶谷 隆志（木津川ダム総合管理所へ）
道路工事課長	上ノ町 勝志（木津川ダム総合管理所より）	市川 滋己（副所長へ）



### 編集後記

新年度を迎え、新体制の下でも、ダムの完成に向けて工事の進捗に努めています。昨年度は、堤体盛立を開始するなど工事が本格化し、定礎式を開催することができました。今年度は堤体盛立、導水路や送水路トンネルの掘削などの工事が最盛期を迎えます。現場は日々違った姿を見せますので、是非展望広場へ足を運んでみて下さい。

### お知らせ

- ▼見学会の実施や工事状況等の詳細については、お電話またはHPをご覧ください！
- ▼「思川だより」に関するご意見・ご要望を募集しています！お気軽に下記連絡先までお寄せ下さい！

編集  
・  
発行



独立行政法人水資源機構 思川開発建設所  
〒322-0305 栃木県鹿沼市口栗野 839-2  
T e l (0289) 85-1110 F a x (0289) 85-1211  
<https://www.water.go.jp/kanto/omoigawa/>

思川開発

検索

